

福島県支部だより

熊川健二郎

1 はじめに

今年は東日本大震災より丸10年になります。当時、携帯電話が繋がらず、連絡に困難がありました。この10年間で一番変化したのは、画像をとりこめ、かつ地震速報を発するスマホが普及し、災害時の通信手段として利用できるということでしょうか。震災後、通信手段は何が一番良いかということで、衛生電話、MCA無線を日本腎臓学会の義援金にて各施設の希望に応じて配布。更に日本透析医会の義援金でライトカード（透析条件、感染症、禁忌薬などが記載されている）を配布しました。年2回、福島県透析医療災害対策連絡会議を開催し、訓練実施内容、MCA無線のバッテリーの交換状況など報告しています。

令和元年10月の台風19号の水害時対応について当事者の先生に経験談を話していただき、電源の確保、災害に特化した自衛隊の力強い援助、地域の対策本部との日頃の繋がり的重要性を学びました。

郡山市の日東病院で昭和45年血液透析が開始され、同年、福島県腎臓病協議会が発足50周年に当たります。令和2年5月17日に全国腎臓病協議会が開催予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。

2 活動報告

令和2年7月に予定していた福島県透析医会の開催が、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。そのため、令和2年10月3日にWEB開催された日本透析医会支部長会報告の一部、福島県透析医会のCOVID-19対応策（鈴木一裕先生報告）、透析保険診査員懇談会の抜粋を送付しました。予定していた草津総合病院の西尾利樹先生の特別公演は令和3年の7月頃にWEB講演会の予定としました。

コロナ禍の中で、WEB会議や講演という新たな手段を得たのは不幸中の幸いというべきでしょうか。

そんな中で、令和2年11月10日「第6回災害時の透析医療を考える会」では会員である谷病院の谷良裕先生に「令和元年台風19号による浸水被害を経験して」を講演していただき会員への水害対策について非常に参考となりました。台風19号での福島県内の被害は断水、停電などで計5

病院が被災しました。ちなみに前回の支部だよりでは平成26年5月15日の県中地区透析施設災害対策会議、福島県臨床工学技士会、日本透析医会福島県支部の共催による「第一回災害時の透析医療を考える会」の報告をしました。(VOL.30 No.1 182~183)今回は第1回~5回までの演題名を記載します。

“災害時の透析医療を考える会”

第1回 平成26年5月15日 震災時、透析医療を陰で支えてくれた方々の声

- | | |
|---------------------------|--------|
| ① 医薬品卸の役割と震災時の状況と対応 | 恒和薬品 |
| ② 東日本大震災時の医療機器物流状況と対応について | サンセイ医機 |
| ③ 東日本大震災時の経験~災害時の物流対応と対策 | ニプロ |

第2回 平成27年9月15日

- | | |
|-----------------------------|--------|
| ① 東日本大震災における保健所の対応 | 郡山市保健所 |
| ② 東日本大震災における対応及び今後の対策について | 郡山市水道局 |
| ③ 震災時のライフライン対応~東日本大震災の経験から~ | 東北電力 |

第3回 平成28年4月14日

震災時におけるマスコミの対応

- | | |
|-----|---------|
| 新聞 | 福島民報社 |
| テレビ | 福島中央テレビ |
| ラジオ | ラジオ福島 |

第4回 平成29年3月16日

- | | |
|---------------------|---------|
| ① 東日本大震災における生産復旧対応 | トーアエイヨー |
| ② 震災時の調剤薬局としての対応と役割 | ふたば薬局 |
| ③ 震災時の病院薬局としての対応と役割 | 寿泉堂総合病院 |

第5回 平成30年3月15日

特別講演

熊本地震におけるJHATの活動と課題

- | |
|-------------------|
| 神奈川工科大学工学部臨床工学科教授 |
| 山家 敏彦先生 |

3 おわりに

コロナ禍の中で透析患者さんと職員をどう守るのか、我々に与えられた使命は大きいが会員の力を結集して乗り越えましょう。

最後に透析医会福島県支部の歴史と平成11年~令和2年迄の特別講演演題を提示しました。

日本透析医会福井県支部 特別講演演題表

設立総会	平成 8 年 6 月 8 日 (土) (社) 日本透析医会福井県支部会則制定 会長：阿部幸男 副会長：白岩康夫 事務局 加藤義朋 特別講演なし 透析保険審査に関する懇談会に出席 白岩康夫
第 1 回 支部総会	平成 10 年 7 月 25 日 (土) 第 1 回日本透析医会福井県支部総会開催 役員改選 会長：白岩康夫 副会長：金田 浩 事務局：加藤義朋 特別講演なし 透析保険審査に関する懇談会報告
特別講演 第 1 回	平成 11 年 10 月 30 日 (土) (社) 日本透析医会常任理事 鈴木 満先生 『透析医療の課題』
第 2 回	平成 12 年 2 月 26 日 (土) 順天堂大学腎臓内科教授 富野康日己先生 『透析患者の心のケア』
第 3 回	平成 12 年 11 月 18 日 (土) 永人会病院腎センター 石橋 充先生 『血液透析の至適性』
第 4 回	平成 13 年 11 月 10 日 (土) 医療法人宏人会理事長 関野 宏先生 『要介護透析患者への対応』
第 5 回	平成 14 年 8 月 24 日 (土) (社) 日本透析医会会長 山崎 親雄先生 『これからの透析と透析医会活動』
第 6 回	平成 15 年 7 月 26 日 (土) (株) 医療経営戦略研究所所長 桜堂 渉先生 『今後の医療経済と透析医療』
第 7 回	平成 16 年 7 月 17 日 (土) (医) かもめクリニック理事長 金田 浩先生 『長時間透析の臨床効果』
第 8 回	平成 18 年 9 月 16 日 (土) (株) 医療経営戦略研究所所長 桜堂 渉先生 『透析医療環境変化に伴う組織戦略～診療報酬改定と今後の対応～』
第 9 回	平成 19 年 6 月 9 日 (土) 府中腎クリニック院長 赤塚東司雄先生 『巨大災害と透析医療 その対策と進化』
第 10 回	平成 20 年 6 月 7 日 (土) みはま病院 ME 部部长 武田 稔男先生 『災害時の透析医療ネットワークとその活動報告』
第 11 回	平成 21 年 3 月 28 日 (土) 札幌北クリニック院長 大平 整爾先生 『透析患者の生と死 透析導入, 非導入, 継続ならびに中止』
第 12 回	平成 21 年 7 月 4 日 (土) 増子クリニック院長 山崎 親雄先生 『透析医療提供システムの維持』
第 13 回	平成 22 年 3 月 13 日 (土) 秋田大学医学部腎置換医療学講座教授 佐藤 滋先生 『CKD・透析・腎移植の最近の話題』
第 14 回	平成 22 年 7 月 17 日 (土) (株) 医療経営戦略研究所代表取締役 桜堂 渉先生 『透析医療経営・システムの未来—診療報酬抑制下における未来のシナリオ』
第 15 回	平成 24 年 7 月 29 日 (日) 明楽会くまクリニック院長 隈 博政先生 『災害時の人工透析医療提供制度の確保』
第 16 回	平成 25 年 7 月 27 日 (土) 特定医療法人仁真会理事長 山川 智之先生 『透析医療を取り巻く医療情勢～今後の透析医療についての考え方～』
第 17 回	平成 26 年 9 月 28 日 (日) 東京慈恵医科大学附属病院腎・高血圧 横山啓太郎先生 『CKD-MBD について』
第 18 回	平成 27 年 7 月 21 日 (日) 医療法人豊済会理事長 菊地 勘先生 『透析患者の死因第 2 位である感染症～透析施設の必要な感染対策とは～』
第 19 回	平成 28 年 7 月 10 日 (日) 独立行政法人地域医療機能推進機構 佐藤 元美先生 『透析患者の末梢動脈疾患に対する取り組み』 中京病院腎臓内科・透析センター長
第 20 回	平成 29 年 7 月 9 日 (日) 医療法人社団大誠会サンシャイン M & D クリニックデンタル副院長 毛利 謙三先生 『透析患者の口腔健康管理～最近の歯科トピックを踏まえて～』
第 21 回	平成 30 年 7 月 22 日 (日) 知邑舎メディカルサテライト岩倉透析 長尾 尋智先生 『わかりやすい I-HDF の原理と臨床効果』 室長・看護部長
第 22 回	令和元年 7 月 28 日 (日) 大阪大学大学院医学系研究科腎疾患臓器連関制御学寄付講座助教 坂口 悠介先生 『透析患者のマグネシウムの fine tuning を目指して』